

各常任委員会行政視察研修報告

市議会では、毎年常任委員会ごとに行政視察研修を実施しています。今年度の視察について、それぞれの委員長が報告いたします。

総務常任委員会

委員長 相川 求

平成27年10月28日から30日に、大分県杵築市、大分県中津市、福岡県太宰府市の視察を実施いたしました。

杵築市では、「定住促進人生まるごと応援プラン」についての研修を受け、人口減少に歯止めをかける魅力あるまちづくり、人生の段階に応じて支援・応援ができないか検討、新しい施策の展開や定住促進として市民の皆様が利用できる事業で生き残りをかけた取り組みを行っている。

中津市では、「6次産業化と道の駅プロジェクト」について、各々の用途に応じて活用できる複合型の交流拠点で、道の駅でも大規模な農産物や生鮮を取り入れた直売所で、6次産業化の取り組みは、各産業の連携による商品の付加価値、所得の増加、農村及び市全域の活性化と地域資源を活用した6次化推進を図っている。

福岡県太宰府市「ICエコまちづくり事業について」観光情報や交通案内の向上と回遊性を高めるエコな都市づく

りを進めている。



社会常任委員会

委員長 春山 邦雄

平成27年10月7日から9日にかけて福岡県八女市及び大野城市と佐賀県武雄市に行き行政視察を行いました。

八女市上陽北学園にて「小中一貫教育校の取り組み」について、八女市では児童数の減少に伴い平成18年に小中学校が統合、21年4月に校舎一体型小中一貫教育を開始。特徴は礼節・ことば科などで礼儀・作法など9年間で学ぶ。

武雄市図書館にて「図書館の指定管理者」事業について、武雄市では「市民のための図書館」として指定管理者を導入。本の購入やコーヒーを飲みながら本も読み話題となり

県内外から多くの来場者が訪れ利用者・貸出数が増加した。説明で導入前後の状況も良くわかりました。

大野城市役所において「ワンストップ総合窓口改善」事業について、窓口改善は市役所に来られた全ての方に「わかりやすく・使いやすく・心地よく」手続ができて来場者に対して取組みやコスト削減を図っている。



経済建設常任委員会

委員長 壁田 賢二

経済建設常任委員会では、平成27年10月7日から9日にかけて長崎県長崎市及び山口県宇部市において視察を実施しました。

長崎市では「老朽危険空き家対策事業」についての視察。

長崎市空き家等対策の推進に関する条例を新たに改正。長崎市老朽危険空き家除去費補助金(最大50万円)補助。除去実績は、平成18年～26年の9年間の合計。申し込み件数432件・不採択324件・除去件数44件。

本市においても喫緊の課題であり、特に通学路や人通りの多い道に面している老朽化した空き家の対策を進めていく必要と考える。

山口県宇部市では「ガス事業民営化」を視察。14項目の質問に答えていただきました。譲渡後の料金は据え置き。サービス面も良くなった。指定工事店はそのまま引き継がれている。譲渡後、苦情もなく事業が進められている。

本市においても、参考事例としていければと考える。



議員連絡協議会議員研修会

11月17日ヴァンヴェールにおいて、富岡甘楽地方議会議員連絡協議会議員研修会が開催されました。

この協議会は、富岡甘楽郡内4市町村の議員で構成され、関連する各種の研修会を開催しています。

今回は、公立富岡総合病院長の佐藤尚文さんをお招きして「これからの地域医療」地域包括ケア、地域医療構想を踏まえての現状と今後」と題してご講演をいただきました。



佐藤尚文さんによる講演の様子